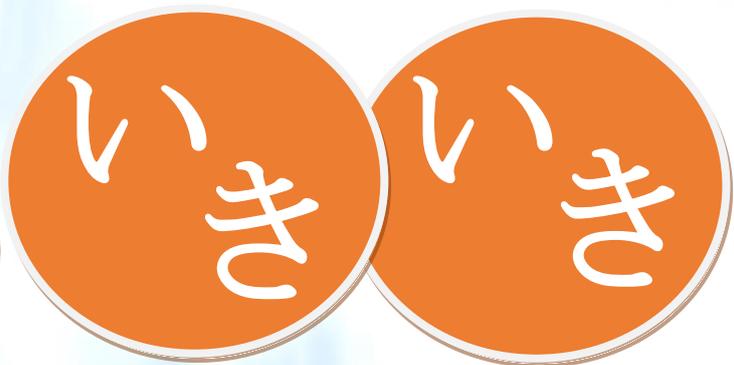


地域の支えあい活動や介護予防活動をご紹介します

見~つけた!

# 地域の活動



## Vol.20

2018年3月発行

### 多様な介護予防メニューで地域を元気に! 古津賀第2団地の取り組み



今回の地域のいきいき活動は、古津賀第2団地地区健康福祉委員会の活動をご紹介します。

古津賀第2団地地区は、約400世帯900人が暮らす市内でも住民の多い地区ですが、古い団地ということもあり、区内の少子高齢化も深刻で、地区の高齢化率は3月1日現在約34%となっております。

こうした中、古津賀第2団地地区健康福祉委員会では、特定健診等の呼びかけや介護予防の取り組み、高齢者や障害者、母子世帯等の見守り、調理や掃除、買物代行・同行、ごみ出しなど様々な支え合い活動を行っており、地区住民の力を活かした支え合いの地域活動が展開されています。

なかでも介護予防の取り組みは、性別や世代を問わず活動に興味のある人が集まれるよう、卓球・カラオケ・体操・グラウンドゴルフ・ウォーキングなど選択肢が多いことがこの地区の特徴となっています。



また、できるだけ多くの地区住民が参加できるようにと、ほとんど毎日(月に20日以上) 取り組まれており、世帯数の多い古津賀第2団地ならではの取り組みだと感じました。

それでも、活動参加者の固定化や公共交通機関が脆弱な地域であるため、気軽に移動できない高齢者への対応など課題はつきないようですが、区内の教職員退職者を中心となって、子どもたちの夏休みの宿題を一緒にするなど、「何か工夫したらできることはあるかもしれん」と、住民一人ひとりの暮らしに楽しみと生きがい、安心感を生み出せるよう、地区住民が一丸となって取り組まれています。